# 「東京都観光産業振興アクションプログラム2017（素案）」の概要

資料2

## 1　策定の意義等（Ｐ１～）

### （１）基本的な考え方

○ 観光産業の意義

○ 観光を巡る環境の変化：外国人旅行者の急増など

○ **中長期的な視点**に立ち、**総合的かつ体系的な施策の展開**の必要性

### （２）策定に向けたスケジュール

○ **素案（28年5月下旬）：今後の取組の方向性**

○ 中間のまとめ（28年11月頃）：具体的な観光施策の案など

○ 最終的な確定版（年度内）：パブリックコメント等を反映

### （３）目標のあり方（目標設定の多様化）

○ **多様な目標の設定を検討**

⇒ 旅行者数に加え、消費額やリピーター数など（中間のまとめで整理）

## 2　観光を巡る具体的な現状（Ｐ４～）

○ **外国人旅行者数の急増** ☞ この10年間で訪都旅行者数は約2倍

○ **旅行による消費の拡大** ☞ 訪都旅行者の消費額は7850億円

○ **拡大する宿泊需要** ☞ 都内宿泊施設の稼働率は約8割

○ **外国人旅行者の情報収集方法の変化** ☞ ICT化の進展

○ **多摩・島しょへの送客の必要性の高まり** ☞ 外国人旅行者による観光

○ **更なる向上が望まれる「観光都市としての東京」** ☞ 東京の評価の向上

## 3　これまでの取組（Ｐ11～）

・外国人旅行者誘致の展開　・観光資源の開発　・消費拡大に向けた取組　など

## 4　新たな取組の視点（Ｐ14～）

- **観光の一大産業化**：観光産業の効率化と利便性の向上、人材育成　など
- **将来を見据えた新たな観光資源の開発**：新たな視点に立った魅力的な観光資源の開発　など
- **魅力の発信と効果的な誘致活動**：東京ブランドを発信する地域等での取組強化　など
- **受入環境の充実**：ソフト・ハード両面からの受入環境整備の加速化　など

## 5　観光産業振興に向けた取組の方向性（Ｐ17～）

### （1）消費拡大に向けた観光経営（P17～）

| 課題 | 方向性 |
| --- | --- |
| **旅館**等を含め**生産性**をどう高め**人材**を育てるか | ・**マーケティング**や**ＩＣＴ化**の導入<br>・**人材**の育成<br>・**旅館ブランド**の発信など |

### （2）集客力が高く良質な観光資源の開発（P20～）

| 課題 | 方向性 |
| --- | --- |
| **新しい**考え方で**観光資源**づくりや**多摩・島しょ**観光をどう進めるか | ・**水辺**の活用、**光**による演出、**ナイトライフ観光**の推進<br>・**新たな祭り**の創出<br>・多摩・島しょの**自然**や**農林水産業**などの活用 |

### （3）東京ブランドの発信と観光プロモーションの新たな展開（P25～）

| 課題 | 方向性 |
| --- | --- |
| これから**東京ブランド**の発信や旅行者への働きかけをどう進めるか | ・観光レップによる欧米豪の**富裕な旅行者層**への働きかけ<br>・パリ等の**国際観光都市**との**相互ＰＲ**<br>・**東京ブランド**の民間や**地域**での活用推進 |

### （4）MICE誘致の新たな展開（P29～）

| 課題 | 方向性 |
| --- | --- |
| ＭＩＣＥ**施設の更新**や**多摩**での展開をどう進めるか | ・ＭＩＣＥ**施設の更新**などへの対応<br>・**多摩地域**でのＭＩＣＥ開催 |

### （5）外国人旅行者の受入環境の向上（P32～）

| 課題 | 方向性 |
| --- | --- |
| 区部や多摩で観光客にとって**快適な環境**をどう生み出すか | ・**多摩地域**での**観光情報センター機能**の整備<br>・**災害時の対応**や**障害者参加**の充実<br>・**ホール・劇場**の確保 |

### （6）日本各地と連携した観光振興（P36～）

| 課題 | 方向性 |
| --- | --- |
| **各地との連携**をどう強化するか | ・都内と日本各地の**区市町村レベル**の協力 |